



今年も桜の季節となりました！

10年前、遺体安置所に向かうバスの中で見た、宮城県の満開の桜の光景はいまだに鮮明に思い出します。

今年は、新型コロナの影響で、お花見をしながらの宴会は自粛しなければなりません、桜の美しさを静かに鑑賞できる日常に感謝したいと思います。



## 2020年4月～2021年3月 活動報告

### 災害机上訓練

➤ 2020年11月23日(月)

「遺体安置所内での感染症対策下における多職種連携活動」

主催: JUMP・鶴見大学公共医科学研究センター

共催: 鶴見大学法医歯学・神奈川県歯科医師会・

千葉県歯科医師会・千葉大学附属法医学教育研究センター

会場: 鶴見大学歯学部

参加者数: 会場参加型8名, YouTube163回視聴(2021年3月時点)

主な参加者: 医師, 歯科医師, 警察官, 海上保安官など

➤ 2021年2月21日(日)

### オンラインシンポジウム(ZOOM配信)

「東日本大震災から10年を迎えて～次世代へつなぐこと～」

講演者: Pongruk Sribanditmongkol先生(タイ・チェンマイ大学副学長),  
高橋悦堂先生(臨床宗教師), 佐藤慶太先生(鶴見大学副学長)

主催: JUMP・鶴見大学公共医科学研究センター

会場: 鶴見大学会議室 参加者数: 約40名

主な参加者: 歯科医師, 医師, 大学院生, 歯学部生など

### 表彰

➤ 2020年12月15日 JUMPメンバー勝村氏: 神奈川県南署から感謝状の贈呈  
「歯科所見」により生存している意識不明者の身元を確定



### 学会発表

➤ 2020年10月4日 日本法歯科医学会第14回学術大会(岩手): 齊藤氏発表  
「タイにおける身元不明死体の個人識別に向けた取り組み」

➤ 2021年2月6日 第18回警察歯科医会全国大会(鹿児島): 熊谷氏発表  
「災害犠牲者個人識別の国際標準から学び日本が応用できることを考察する」

## 2020年1月～2021年3月 自然災害

日本

令和2年7月豪雨:7月3日から7月31日にかけて、熊本県を中心に発生した集中豪雨  
死者84名, 行方不明者2名

2020年8月の熱中症:東京23区内の死者170名(8月では過去最多)

2020年12月～2021年1月の北海道, 東北, 北陸における雪害による死者数:70名

海外

1月:オーストラリア・森林火災:死者29名(ボランティア消防士3名を含む)

1月1日:インドネシア・ジャカルタの集中豪雨:少なくとも66名

1月24日:トルコ東部M6.8の巨大地震:死者36名

6月の中国南部での豪雨, 8月:アフガニスタン東部での鉄砲水:死者100名以上

など

### 付録

東日本大震災から10年、  
歯科医師による活動が以下のメディアで取り上げられました



3月 3日 NHK岩手 <https://www.nhk.or.jp/morioka/obandesu/newsMovies/>

3月19日 BSN新潟 [遺体の名前を取り戻す 歯科医師の震災10年\(前編\)\(BSN新潟放送\) - Yahoo!ニュース](#)  
[身元特定にデータベース化を 歯科医師の震災10年\(後編\)\(BSN新潟放送\) - Yahoo!ニュース](#)

3月10日 朝日新聞全国版 岩手県歯科医師 佐々木憲一郎さん「治療データ 他所でも保存が必要」

3月14日 静岡新聞 「身元の究明へ 国主導チームを 女性歯科医が報告書 デジタル化推進も必要」

など

### 関連行事のお知らせ

※ 2021年7月31日(日) 日本法歯科医学会第15回学術大会(京都)

大会長:池谷 博氏(京都府立医科大学・法医学・教授)

会場:京都府立医科大学 広小路キャンパス or Web(Zoom)参加

2020年は、世界が新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でした。また、現在は、複数の変異株も出現し、収束の目途が立っていないというのが現状だと思います。ワクチンの供給は開始されましたが、治療薬はありません。また、東日本大震災から10年が経過した現在でも、余震が発生しています。当たり前の言葉ですが、「備えあれば患いなし」で、「自助」の精神をモットーに、感染症対策をしながら災害にも備えなくてはいけないのだと感じております。

2015年10月に結成したJUMPの代表は、来年度から、岩手医大の熊谷氏が行うこととなります。本レターが、斉藤から発信する最後のレターになりました。最後までお付き合いいただき、誠にありがとうございました。

引き続き、皆様のご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。JUMP代表:斉藤久子